

経営健全化方針に基づく取組状況（令和3年度）

○法人名 一般財団法人ブナの里白神公社

○経営健全化方針を策定した理由

平成28年度から2期連続の赤字決算となり、今後、経営改善が図られないと、継続的な補助金の投入など、村の財政運営に影響を及ぼすことが懸念されるため。

○財政的リスクの状況

(千円)

	平成29年度 決算（※1）	令和2年度 決算（※2）	目標達成年度 （令和3年度） ※3
債務超過額	0	—	—
事業の内容に応じて時価で 評価した場合の債務超過額	0	—	—
土地開発公社のうち債務保 証又は損失補償の対象とな っている保有期間5年以上 の土地の簿価総額（A）	—	—	—
損失補償、債務保証及び短期 貸付けの合計額（B）	0	—	—
標準財政規模（C）	1,206,546		—
実質赤字比率（%）	—	—	—
（A）／（C）（%）	—	—	—
（B）／（C）（%）	—	—	—

※1：経営健全化方針の策定が必要となった決算年度の数値を記載

※2：該当する経営健全化方針の策定要件に関して、直近の決算額を、順次記載していく。

※3：当該団体が目標とする財政的リスク解消の達成年度の見通し及び数値を記載。なお、経営健全化方針策定通知においては、今後5年間で経営健全化方針の策定要件（財政的リスク）を解消することを目指して取組を記載することとしていることに留意。

○主な取組状況

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・ 宿泊部門等の一時休業による経費削減を図った。
- ・ 旅行会社 2 社を招聘し、本村への観光誘客促進を目的とした現地視察を開催した。
- ・ 旅行会社へ観光誘客促進を目的とした営業活動を実施した。
- ・ 道の駅津軽白神にモンベルコーナーを開設した。
- ・ GOTO トラベルキャンペーンや県・村実施の宿泊キャンペーンへの参画した。
- ・ グリーンパークもりのいずみにて食事プランを再開した。
- ・ 熊関連やモンベルオリジナルの新商品開発及び販売を行った。

【地方公共団体による財政的ナリスクへの対処のための対応】

- ・ ブナの里白神公社運営協議会を年 4 回実施し、経営状況の把握・改善に努めた。
- ・ ブナの里白神公社の施設長会議に村担当者が出席し、各月の決算状況や課題等について、情報共有を図った。
- ・ 継続した指定管理料の導入により、経営基盤の強化を図った。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(千円)

	平成 29 年度 決算 (※4)	令和 2 年度 決算 (※5)
資産総額	88,325	69,200
（うち現預金）	9,238	18,721
（うち売上債権）	33,440	7,397
（うち棚卸資産）	21,653	22,137
負債総額	56,647	37,418
（うち当該地方公共団体 からの借入金）	0	0
純資産総額	31,678	31,842

(損益計算書から)

(千円)

	平成 29 年度 決算 (※4)	令和 2 年度 決算 (※5)
経常収益	396,999	334,720
経常費用	419,008	346,444
経常損益	△22,009	△11,724
経常外損益	20,751	18,003
当期純損益	△1,258	6,279

※4：経営健全化方針の策定が必要となった決算年度の数値を記載

※5：直近の決算額を、順次記載していく。